

2022年度事業計画

昨年は、一昨年から続く新型コロナウイルス感染症により、観光業界は大きな影響を受けた一年となりました。変異を繰り返す新型コロナウイルスは、度重なる感染拡大をもたらし、県をまたぐ移動の自粛や外出機会の半減などの影響により、観光需要は大きく減少し、宿泊施設をはじめ、飲食店や交通事業者、物産事業者など幅広い事業者が深刻な影響を受けました。

こうした甚大な影響が生じた観光業の早急な需要喚起のため、当連盟では、県内宿泊施設の宿泊費用の割引や、体験型コンテンツの半額キャンペーンなど、観光需要の回復に取り組んでまいりました。

秋には、これらの取組と感染状況の落ち着きが相まって、明るい兆しが出てきた矢先、年明けからは、感染力の強いオミクロン株により感染が急拡大し、1月9日から山口県としては初めてとなる、まん延防止等重点措置が適用され、再び、観光需要は大きく落ち込んでいます。

連盟としては、この大きく落ち込んだ観光需要のV字回復に全力で取り組むとともに、効率的で効果的な情報発信や、観光資源の磨き上げなどの支援に加え、コロナ時代における社会変革に対応するため、観光のデジタル化への対応やDXの創出など、新たな観光振興にも、県や市町、各団体等と連携しながら取り組んでいきたいと考えています。

2022年度事業計画においては、落ち込んだ観光需要の回復に取り組むとともに、「やまぐちDMO推進戦略」の3つの基本方針に沿って、多様な関係者の参加によるツーリズムの振興を図り、デジタル化等にも対応しながら戦略の目標指標に掲げる観光消費額や延べ宿泊者数等の増加を目指していきます。

◆やまぐちDMO推進戦略に掲げる3つの基本方針

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | 協創力 を高める
⇒ 多様な関係者の連携を促進 |
| II | 地域の魅力 を高める
⇒ 着地整備の促進 |
| III | 情報の伝達力 を高める
⇒ プロモーションの展開 |

■ 観光需要の回復に向けた取組

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化し、依然として厳しい状況が続いている県内観光産業の早期回復に向け、「やまぐち割引宿泊券」や「GOTOやまぐち事業」等の展開により、観光需要を強力に喚起する。

1 やまぐち割引宿泊券事業

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化し、依然として厳しい状況下にある県内観光産業を支援するため、割引率30%の宿泊券を発行する。

《利用期間》7月20日宿泊分まで（GWを除く）

《利用対象》宿泊及び宿泊に係るオプション（おみやげ等）

《割引率》30%（額面5,000円を3,500円で発売）

《発行枚数》30万枚

2 **新**GOTOやまぐち事業

観光庁の「新たなGOTOトラベル事業」を最大限に活用した全国規模の需要喚起策を実施する。

《開始時期》ゴールデンウィーク後

《対象地域》全国

《旅行商品の割引》上限20%

（交通付き8,000円、宿泊のみ5,000円、日帰り2,000円）

《クーポン》3,000円上限

3 バסטツアー企画旅行支援事業

山口県内の宿泊施設に宿泊する貸し切りバスを利用した企画旅行（募集型・受注型）を実施する旅行会社に対し、バス1台あたり12万円または8万円を助成する。

《期間》1月17日～9月30日（出発日及び宿泊日）

《助成額》山口県バス協会加盟バス事業者のバス利用 1台あたり12万円

その他のバス利用 1台あたり8万円

4 誘客イベント開催支援事業

観光関係団体が実施する滞在時間の延長を図るための魅力的なイベントの開催を支援する。

《対象期間》4月1日～2023年1月31日

《対象者》市町、観光協会、イベント実行委員会、民間事業者等

《対象経費》企画、運営、広報宣伝、感染症対策等

《補助額》200万円を上限とした定額補助

I 協創力を高める ～多様な関係者の連携を促進～

多様な関係者の連携を促進するとともに、各地域における取組を支援することにより、県を挙げた「協創」を生み出す。

1 DMO推進体制の強化

①マーケティング専門人材等の配置等

▽マーケットに的確に対応した事業活動を展開できるよう、観光に関する専門的知見を有するマーケティング統括責任者を常勤配置し、マーケティング機能の強化に向けた体制整備を推進

②マーケティング機能の充実・強化

▽マーケティング統括責任者の主導による、ターゲットの旅行意識や周遊実態等の詳細把握等、マーケティングリサーチを実施する。

③着地整備に係る専門人材の配置・育成

▽地域の事業者等と幅広いネットワークを構築し、魅力ある観光コンテンツの造成等をノウハウ面から支援

2 地域におけるDMO的取組の促進

① やまぐちDMOフォーラムの開催

・マーケティング統括責任者を核に、「やまぐちDMO推進戦略」の共有と地域の中核的な人材育成、多様な関係者との合意形成を図るため、「やまぐちDMOフォーラム」を開催

②課題解決型ワークショップの開催

・観光地が地域ぐるみでデータ分析・活用スキルを高め、観光地域全体が「稼ぐ力」を身に付けられるよう、課題解決型ワークショップを開催し、観光地経営のDXモデルを形成

3 観光功労者表彰事業

一般社団法人山口県観光連盟功労者表彰要綱に基づき、本県の観光振興のために尽力した者を表彰する。(隔年実施)

Ⅱ 地域の魅力を高める ～着地整備の促進～

「やまぐちらしさ」を磨き上げ、魅力ある観光資源、コンテンツ、サービスを生み出し、山口県の「価値」を高める取組を進める。

1 新戦略的観光消費額向上事業

ビッグデータ等を活用した分析結果を踏まえ、マーケット志向に基づき、効果的なプロモーションと強力な着地整備を戦略的かつ一体的に展開することで、「観光消費額の向上」を図り、コロナ後を見据えた観光産業の稼ぐ力の強化につなげる。

① 宿泊客増加に直結する着地整備の実施

- ▽「宿泊客の増加」を目的に複数の民間事業者が連携して実施する取組を支援
- ▽事業者の課題解決に向けたアドバイザー派遣

② 観光消費喚起に向けた周遊イベントの実施

- ▽19市町をめぐる“新たな”スタンプラリーの実施
 - ・宝探し、謎解き等の企画への参加を条件化
 - ・周辺店舗紹介、クーポン提供等による消費喚起

2 外国人観光客の受入環境の整備

本県を訪れる外国人観光客の満足度を高め、リピーターの確保や更なる誘客拡大を図るため、県内を安心して快適に周遊できる受入環境の充実を図る。

① インバウンドコーディネーターの配置と研修会の開催

- ・外国人観光客向けの観光資源の発掘や受入施設の充実
- ・意識啓発やおもてなしのスキルアップを目的とした研修会の開催

② 多言語コールセンター等の運用

- ・多言語コールセンターによる通訳サービスの提供
- ・多言語WEBサイトによる情報発信

③ 無料公衆無線LAN環境の普及促進

- ・「やまぐちFree Wi-Fi」の普及促進
- ・統一ステッカーやWebでのマップ表示による設置場所のPR

④ 岩国駅観光案内所への多言語対応スタッフの配置

3 着地整備に係る専門人材の配置・育成（再掲）

地域の事業者等と幅広いネットワーク構築し、魅力ある観光コンテンツ造成をノウハウ面から支援

4 全県を挙げたおもてなし力の向上

本県を訪れる旅行者が県内をストレスなく、安心・快適に観光を楽しめるよう、観光コンシェルジュを配置するなど、広域観光案内機能等の強化を図る。

①観光コンシェルジュの配置

- ・山口県観光全体について、ワンストップで行き届いた案内を実施する「山口県観光コンシェルジュ」をJ R新山口駅に配置

②おもてなし・資質向上に対する支援

- ・J R新幹線駅及び山口宇部空港での観光案内所における観光案内業務や、関係団体等による資質向上のためのおもてなし研修の実施など、「心のこもったおもてなし」の取組を支援

5 スポーツ・文化との連携の推進

県の「スポーツフィールドやまぐち推進協議会」や「萩・山口・防府連携文化観光推進協議会」の取組等に参加し、交流人口及び観光消費の拡大を図る。

Ⅲ 情報の伝達力を高める ～プロモーションの展開～

データの収集・分析に基づいたプロモーション活動の展開等により、マーケットに確実に訴求する情報発信を進める。

1 新戦略的観光消費額向上事業（再掲）

ビッグデータ等を活用した分析結果を踏まえ、マーケット志向に基づき、効果的なプロモーションと強力な着地整備を戦略的かつ一体的に展開することで、「観光消費額の向上」を図り、コロナ後を見据えた観光産業の稼ぐ力の強化につなげる。

① デジタル観光プロモーションの展開

▽ ターゲティング広告等の実施

▽ アクセス状況分析等による効果測定・WEBコンテンツの適正化等

② 観光消費喚起に向けた周遊イベントの実施

▽ 19市町をめぐる“新たな”スタンプラリーの実施

- ・ 宝探し、謎解き等の企画への参加を条件化
- ・ 周辺店舗紹介、クーポン提供等による消費喚起

2 ホームページやSNS、情報誌等による情報発信

リニューアルしたWebサイト「おいでませ山口へ」や、SNS（Facebook、Instagram、Twitter）、観光素材集「西の国から」等を活用し、戦略的・機動的な情報発信を行う。

3 YAMAGUCHI MAGIC! プロモーション推進事業

県観光キャッチフレーズ「YAMAGUCHI MAGIC!」のもと、観光5大要素（絶景、温泉、歴史、体験、グルメ）を活かした事業を展開するとともに、鉄道事業者や航空会社、旅行会社等の民間事業者と連携した誘客推進を図る。

① 5大要素を活かした観光キャンペーンの展開

▽ 空から魅る超絶景

- ・ 熱気球の体験搭乗イベント

▽ 古地図を片手にまちを歩こう

- ・ ガイドウォークやスマホ等で気軽に楽しめるまち歩き

▽ オフ泉県やまぐち

- ・ 本県の温泉の魅力を大分県との連携などにより発信し誘客を促進

② 民間企業との連携によるプロモーションの展開

▽ 民間企業との連携

- ・ 鉄道事業者と連携した誘客促進及び情報発信等
- ・ 航空会社とタイアップした情報発信等
- ・ 旅行会社とタイアップした旅行商品の造成等
- ・ 道路事業者等と連携した周遊促進の取組

4 観光プロモーション力強化事業

県の認知度、魅力度等の向上を図るため、従来型の確立されたPR手法も有効に活用し、観光客の増加や周遊の促進につながるプロモーションを展開する。

①情報発信会の開催

▽旅行商品造成やメディアの掲出に繋げるため、大都市圏において、旅行会社・交通運輸事業者、メディア等を対象とした情報発信会や商談会を開催

②観光案内機能の充実

▽観光ガイドマップ（日本語・外国語版）の作成や観光案内版の整備等

5 新海外誘客デジタルプロモーション事業

往来再開後のインバウンド需要を確実に本県に取り込むため、マーケティング視点に基づいたデジタルプロモーションを展開する。

①デジタルプロモーションの展開

▽マーケティングに基づくターゲット等の明確化

- ・5つの重点市場（韓国、台湾、香港、中国、ASEAN）のビッグデータ等を分析し、市場ごとのターゲットや訴求テーマ等を明確化
- ・情報発信ツールの検証による最適ツールの選択や、運用手法の検討等を実施

▽ターゲティング広告等の配信

- ・SNS等においてターゲティング広告等を配信し、本県のデジタルコンテンツに誘導することにより誘客を促進
- ・広告接触者に係る属性情報等を評価し、ターゲットや訴求テーマ等をブラッシュアップ

②デジタルコンテンツの整備

▽Webページや動画等の制作

- ・魅力的なWebページ（ランディングページ）を制作し、ターゲティング広告の誘導先とするなど、デジタルコンテンツの充実により情報発信力を強化

6 やまぐちインバウンドパワーアップ事業

感染収束後に回復が見込まれる訪日外国人旅行者を確実に本県に取り込むため、5つの重点市場と欧米等市場に向けた戦略的なプロモーションに取り組みます。

①観光プロモーターを核とした誘客促進

▽5つの重点市場への観光プロモーターの配置

▽現地旅行会社やメディア等と連携したプロモーション

▽国際観光展やSNSでの情報発信

②広域連携によるプロモーション

▽中国地方の広域的な観光振興に向けた中国5県での連携

▽広域周遊ルート造成を目的とした近隣県や交通事業者との連携

③欧米等市場の開拓

▽県内観光案内所間の連携強化

▽航空会社と連携した周遊モデルルートの造成

7 山口県MICE誘致推進事業

市町や観光団体と連携し、経済波及効果の高いMICEを戦略的に誘致し、宿泊客の拡大を図る。

①コンベンション商談会への出展等

②MICE開催に係る経費の助成

《助成対象》

開催市町またはコンベンション協会等が誘致し、助成金等が交付される国内大会及び国際大会

《助成金額》

延べ宿泊者数	国内大会	国際大会	
		うち外国人宿泊客数	助成額
500～ 999人		50人以上	700,000円
1,000～1,499人	300,000円		800,000円
1,500～1,999人	400,000円		900,000円
2,000人以上	500,000円		1,000,000円

8 支部事業

東京支部、大阪支部における観光情報の収集・提供や、観光展の開催、参加などによる観光PRを実施する。